

賛助会員の紹介

綿半ソリューションズ株式会社

長野県建築士会佐久支部会員のみなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。この度は企業紹介という貴重な機会を頂きましたので、グループの紹介を兼ね自社紹介をさせていただきます。綿半グループは、今年で創業420周年を迎えることができました。このように時代が大きく激しく変化していく中で今日を迎えることができたのは、お取引先各位をはじめとする多くのご関係の皆様からの暖かいご支援とご高配の賜物であり、改めて心より御礼申し上げます。弊社は、戦国時代末期の慶長3（1598）年、初代・綿屋仁兵衛が飯田の地で綿商いを始めたことを起源として、仁兵衛の子孫が代々綿屋半三郎を名乗ったことが「綿半」の由来となっております。創業から江戸時代に掛けては、飯田藩の御用達商人として綿の商いを行っていましたが、明治に入り海外から鉄・セメント等新しい素材が入ってくると金物商へと経営転換しました。その後、建設資材の卸売業として成長し、戦後は建築鉄骨や屋根外壁などの建設工事業に進出、現在では、内装工事、緑化工事、自走式立体駐車場建設など多種多様な施工実績を誇っております。「自然との共生」をグループビジョンとして、建物とガーデンを一体で企画・デザイン、施工から維持メンテナンスまでをトータル提案する等、付加価値の向上に取り組んでおります。昭和50年代からは金物店を大型化しホームセンターを展開、その後は生鮮食品までを扱うスーパーセンターへと小売事業を進化、2010年には貿易事業を本格的に開始するなど、綿半グループの業態は時代の移り変わりと共に変化と拡大を続けてまいりました。

グループ内で建設事業に携わる綿半ソリューションズ(株)は、お客様にソリューション(課題解決)を提供することを、事業の主軸とし、お客様に貢献できる会社を目指してまいりますので、引き続き変わらぬご指導ご支援を賜ります様お願い申し上げます。

最後に、長野県建築士会佐久支部会員の皆様の益々のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。